

主な輸出先国	台湾、香港等（2023年）	輸出実績	200百万円（2023年）
対象となる地域	熊本県玉名市・山鹿市・熊本市・玉名郡和泉町		

輸出産地の概況

- ・2019年11月から輸出をスタート。最初は生産者9名で20万パックの実績だったが、2023年には生産者40名に増え輸出実績は50万パックに増加している。

輸出に向けた規制・ニーズに対応した生産・流通の取組

- ・台湾へのいちご輸出拡大のために、台湾向け専門の栽培プログラムを設定し、台湾基準値をクリアするいちごの栽培方法確立に向けた取組を行っている。

アピールポイント

- ★高い品質のいちごを提供するため、産地から販売店までコールドチェーンを組んでいる。
- ★現地でのロスが多い場合などは輸出する際にデータロガーを設置し、温度や湿度の異常がないか確認し、高温になっている時間があるなど問題がある場合は原因を追求し対策を行い、品質の維持に努めている。



台湾向け輸出に向けた
ほ場巡回



輸送時のパレットの工夫（熱が伝わりにくい素材の使用）



ロス率低減に向けた
収穫目合わせ会



シーズン終了後に生産者との集会を開催し、実績や反省点、来期に向けた計画など共有